

東アジア地域の環境汚染の現状と ヒト健康への影響

2013 5/25(土) 10:00-17:10

参加無料

*事前の申し込みは不要です。
当日、会場へ直接お越しください。

慶應義塾大学 芝共立キャンパス

JR山手線・京浜東北線 浜松町駅下車、徒歩10分
都営地下鉄三田線 御成門駅下車、徒歩2分
都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅下車、徒歩6分

10:00~10:05 開会の辞 葛西 宏 (日本環境変異原学会会長/産業医科大学)

10:05~10:10 はじめに 世話人 渡辺 徹志

■ 座長 若林 敬二 (静岡県立大学環境科学研究所)

特別講演

10:10~10:45 「わが国におけるPM2.5対策の現状と課題」
大森 豊緑 (環境省大気環境課)

一般講演

10:45~11:20 「大気粉塵及び変異原性物質による汚染-黄砂現象との関係」
渡辺 徹志 (京都薬科大学)

11:20~11:55 「半揮発性物質による大気汚染及びその生物活性」
中島 大介 (国立環境研究所 環境リスク研究センター)

11:55~13:00 昼 食

■ 座長 青木 康展 (国立環境研究所 環境リスク研究センター)

13:00~13:45 「黄砂現象による細菌の長距離移動」
山口 進康 (大阪大学大学院薬学研究科)

13:45~14:30 「東アジア地域における汚染物質PAH類の発生と動態」
早川 和一 (金沢大学医薬保健研究域薬学系)

14:30~14:45 休 憩

■ 座長 戸塚 ゆ加里 (国立がん研究センター研究所)

14:45~15:30 「黄砂飛来がぜん息・アレルギー等の呼吸器疾患に及ぼす影響」
渡部 仁成 (鳥取大学医学部)

15:30~16:15 「ドライバー遺伝子変異と発がん感受性に関わる遺伝子多型
-アジア人肺がんの分子疫学」
白石 航也 (国立がん研究センター研究所)

16:15~17:00 「大気中微小粒子状物質への長期間曝露がヒト健康に及ぼす影響」
片野田 耕太 (国立がん研究センター がん対策情報センター)

17:00~17:10 おわりに 世話人 戸塚 ゆ加里

協賛：日本薬学会 日本環境化学会
室内環境学会 大気環境学会関東支部
慶應義塾大学

詳しくはweb siteをご覧ください
<http://www.j-ems.org/symposium/2013symposium.html>

*希望者には慶應義塾大学薬学部
認定薬剤師研修制度による
生涯研修認定単位(3単位)を付与します

